

授業科目名	スポーツ医学Ⅱ			科目コード	MJKS 0030
学科・コース名	総合ビジネス科 健康スポーツトレーナーコース			履修区分	必修
授業形態	講義	開講学年	1年次	学期	後期
担当教員	杉田大知	実務経験	有	単位数	2 単位
授業の 目的・目標	資格の習得、スポーツ医学の基礎的な知識・技術を習得し、スポーツにおけるトレーナーの役割や重要性を正しく理解する。 スポーツ医学検定3級を取得する。				
授業の概要	スポーツの障害や外傷、身体の機能や構造の基礎について学び、スポーツ医学におけるトレーナーの重要性について理解する 知識のみならず、外傷時の対処法や検査法、人命救助・リスク管理について理解を深め現場において率先して行動を起こせるよう知識・技術の習熟度を深める				
回	授業計画・内容			授業外学習の内容	授業外学習時間
1～2	スポーツ医学を学ぶ意義			授業内容の復習	120分
3～4	スポーツの基礎知識			授業内容の復習	120分
5～6	全身の基礎知識			授業内容の復習	120分
7～8	上肢の骨 応用			授業内容の復習	120分
9～10	下肢・骨盤の骨 応用			授業内容の復習	120分
11～12	頭部・脊椎の骨 応用			授業内容の復習	120分
13～14	上肢の筋肉 応用			授業内容の復習	120分
15～16	下肢の筋肉 応用			授業内容の復習	120分
17～18	体幹の筋肉 応用			授業内容の復習	120分
19～20	スポーツの怪我・故障総論 応用			授業内容の復習	120分
21～22	スポーツ現場での処置 応用			授業内容の復習	120分
23～24	頭部外傷の総論 応用			授業内容の復習	120分
25～26	脳震盪 応用			授業内容の復習	120分
27～28	頭部外傷のその他 応用			授業内容の復習	120分
29～30	顔面の外傷 応用			授業内容の復習	120分
31～32	頸髄損傷 応用			授業内容の復習	120分
33～34	腰椎椎間板ヘルニア 応用			授業内容の復習	120分
35～36	腰椎分離症 応用			授業内容の復習	120分
37～38	その他 腰椎 応用			授業内容の復習	120分
39～40	その他 頸椎 応用			授業内容の復習	120分
41～42	投球障害肩 成人期 応用			授業内容の復習	120分
43～44	投球障害肩 成長期 応用			授業内容の復習	120分
45～46	肩関節脱臼 応用			授業内容の復習	120分
47～48	その他 肩 応用			授業内容の復習	120分
49～50	野球肘 成人 応用			授業内容の復習	120分
51～52	野球肘 成長期 応用			授業内容の復習	120分
53～54	テニス肘 応用			授業内容の復習	120分
55～56	その他 上肢 応用			授業内容の復習	120分
57～58	股関節周辺の痛み 応用			授業内容の復習	120分
59～60	試験			授業内容の復習	120分
評価方法	期末試験によって評価する				
教科書参考書	スポーツ医学検定 公式テキスト2級・3級 改訂版 東洋館出版社 スポーツ医学検定 公式過去問集 2級・3級 東洋館出版社 JATI認定トレーニング指導者オフィシャルテキスト〈理論編〉大修館書店				

授業外学修について 授業外学習の内容のほかに、予習・復習に1時間をあて、授業準備を行うこと